

65 回生進路講演会 『希望進路実現のために』

Benesse Corporation 大阪支社

塚口 浩史 氏

昨年末 12 月 14 日と先日 1 月 11 日、Benesse Corporation 大阪支社の塚口浩史氏をお迎えし、進路講演会を実施しました。今回のテーマは、大学入試にとらわれず、これからの日本と世界の諸問題、企業が求める人材などについて、幅広く提言をいただくこと、そして「第一志望届」作成に向けて、知識理解を深めるヒントや構成の方法、ひいては小論文入試に向けての基礎知識と技術を習得することにあります。2 日間にわたり、それぞれ 2 時間の講演でした。個人ワークやグループディスカッションを取り入れたり、生徒の作文の教材化、そして自身の高校時代や現在のお仕事の様子などを織り交ぜ、65 回生の「第一志望届」作成に向けて、熱く語っていただきました。



【講演のポイント】

DAY1 ~社会に羽ばたいて行く前に考えておきたいこと~

自分たちが働く将来は、どんな社会になっているだろうか？（個人ワーク・グループディスカッション）
10 年後の未来の可能性と求められる人材（少子高齢化、内需の低下、海外事業の拡大、新しい事業の開拓、企業中心の社会文化からの脱却、BRICs の躍進、環境問題、エネルギー問題、人口問題）
企業は、本当にほしい人材を厳選する。それに対して個人は、自分の市場価値をどう高めていくか。



答えのない問題に向き合う世代「問題解決能力」が求められる

身につけたい力をどこで身につけるか

世界の大学ランキング、科学研究補助金・国家公務員Ⅰ種合格者・司法試験合格者ランキング
Home Work 『自分自身、どんな生き方をしたいか』

DAY2 ~第一志望届・小論文入試に向けて~

文章を相手に伝えるためにどういったことを大切にしなければならないか？（個人ワーク・グループディスカッション）

小論文入試の基礎知識

(1) 評価される観点

(2) 近年おさえおきたいテーマ（環境問題、日本の外交と防衛、少子高齢化、食糧問題・日本の食料

自給率、脱・工業化社会、ライフスタイルの変化など)

- (3) 小論文入試傾向と対策 (資料小論文(文章型) 資料小論文(統計・図表型) テーマ小論文(課題型))
- (4) 構成の基本モデル(序論、本論、結論)と段落の効果的活用
- (5) テーママップ(現代の日本社会、科学技術、医療・看護、環境、情報社会、教育、福祉、国際理解)

小論文 = (意見) + (理由) 何より、読み手を納得させることが大切

第一志望届作成に向けて

- (1) 相手に伝わる、相手が頷く文章を書くために(書くことに慣れる + 社会を知る + 自分の意見を持つ)
- (2) 骨子作り
 - なぜその職業・学問なのか(意思表示ときっかけ)
 - 職業・学問についての思い、具体的記述(社会的意義・具体的ビジョン)
 - なぜその大学・学部・学科なのか

【写真集】

